

島根県立大学看護栄養学部のアドミッションポリシー

島根県立大学看護栄養学部アドミッションポリシー

1. 豊かな人間性を備え、看護学もしくは栄養学に関心がある人
2. 人々の健康に関する分野で、何事にも前向きに挑戦する意欲がある人
3. 保健・医療・福祉・教育等の分野を学ぶ上で、必要な学習能力を備えている人

健康栄養学科 アドミッションポリシー

教育内容・特色

島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科は、「自ら考え行動できる、視野の広い専門職業人」を育成することを目指しています。

1. 管理栄養士として療養者に対し、高度の専門的知識・技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導を行うことのできる人材
2. 栄養学・健康科学など関連する諸科学に基づく判断力を持ち、管理栄養士・栄養士の倫理綱領を基盤として、関連職種と連携して協働できる人材
3. 地域の特性と健康課題を明らかにし、地域の健康づくり及び公衆衛生の改善に参画できる人材

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 関連職種連携を重視したカリキュラム
2. 在宅栄養ケアに対応できる人材の育成
3. 地域の健康・栄養課題を行政と連携して解決できる人材の育成
4. 地域の健康福祉分野・地場産業との研究・教育活動を介した連携

求める人材

1. 自然科学に基づく思考力・分析力や食と健康に関わる学問への興味・熱意をもつ人
2. 管理栄養士としての専門知識に基づき、保健・医療・福祉・教育等の分野において社会に貢献しようとする意欲をもつ人
3. 地域への関心と人への思いやりをもち、地域社会において関連職種や関係機関と連携して活動するための協調性を備えている人

高等学校段階で修得しておくべき内容

1. 高等学校教育課程までの基礎学力及び自然科学に基づく思考力と分析力
2. 食と健康に関わる分野への明確な目的意識
3. 積極的に学ぶための学習習慣
4. 相手を尊重し、適切にコミュニケーションできる能力

選抜の基本方針

・一般選抜(島根県地域枠含む)

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜(一般推薦)

合格者の決定は大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜(専門高校・総合学科枠)

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・総合型選抜(島根県地域枠含む)

合格者の決定は、1 次試験の書類選考、2 次試験のレポートと面接の評価を総合して行います。1 次試験通過者には 2 次試験としてレポートと面接を課します。1 次試験の書類選考では、高等学校在学中の学習の状況と活動実績から課題解決に向けた実践力、将来計画書、志願理由書による今後の展望から学習への意欲、更に論理的思考や表現力などを評価します。2 次試験のレポートでは、複数の課題文等と共にレポートのテーマを課し、内容の適切性、独創性、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。

2 次試験の面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、島根県地域枠の面接では、島根県における保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲をあわせて評価します。

・社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接（口頭試問含む）では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、基礎学力、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接（口頭試問含む）では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、基礎学力、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学で必要とする日本語力及び基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

◎：特に重視する ○：重視する

【学力の3要素】

- ①知識・技能の確実な習得
- ②(①を基にした)思考力、判断力、表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

入試区分	選抜方法	①	②	③
一般選抜 (島根県 地域枠含む)	大学入学 共通テスト	◎		
	面接		○	○
学校推薦型選抜 (一般推薦)	大学入学 共通テスト	◎		
	面接		○	○
学校推薦型選抜 (専門高校・ 総合学科枠)	小論文	○	◎	
	面接		○	○
総合型選抜 (島根県 地域枠含む)	書類選考	○		○
	レポート	○	◎	
	面接		○	○
社会人・学士 特別選抜	小論文	○	◎	
	面接 (口頭試問含む)	○	○	○
帰国生 特別選抜	小論文	○	◎	
	面接 (口頭試問含む)	○	○	○
私費外国人 留学生 特別選抜	日本留学試験	◎		
	面接		○	○